

# 支え合いのまち 稲毛



稲毛区支え合いのまち推進協議会だより No. 29

令和4年10月1日発行

編集:稲毛区支え合いのまち推進協議会事務局  
稲毛区六川4-12-4(稲毛保健福祉センター内)

TEL: 284-6141 FAX: 284-6193

## 稲毛区支え合いのまち推進計画を策定しました (第5期稲毛区地域福祉計画 令和4~8年度)

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により一年延期となりましたが、「稲毛区支え合いのまち推進協議会」における検討・承認を経て、第5期計画を策定しました。

本計画では、今後5年間の住民が主体となった地域の取組み(住民同士の支え合い)について、「基本目標」、「基本方針」を定めています。これらに基づく、「具体的な取組み」及び「重点取組地区」については、新型コロナウイルスの感染拡大により地域活動が制限されていることから、令和5年度中に実施する中間見直しまでに区支え合いのまち推進協議会で検討を行い策定することとしています。それまでの間は、第4期計画の取組みを参考に、工夫しながら、できることに取り組むこととします。

### 《基本目標》 みんなで支え合い、安心して暮らせる<sup>まち</sup>稲毛をめざして ～心のバリアフリーから始まる“地域発”の取組み～

稲毛区では、住み慣れたまちで誰もがその人らしく安心した毎日をすごせるよう、地域住民のつながりを構築し、支え合い、助け合える相互協力体制づくりを目指しています。この基本目標は、2006(平成18)年の第1期計画策定当初から掲げる稲毛区の目指すべき将来像であり、第5期計画においても継続をいたします。

#### 【基本方針】

稲毛区の目指すべき将来像である基本目標を達成するため、3つの基本方針に基づき、計画に取り組みます。この基本方針は、これまでの計画のものを引き継ぎつつ、区の課題を踏まえた見直しを行っております。

#### 1 みんなの様々な居場所と健康づくり

高齢者をはじめ、誰もが地域の中で健康でいきいきと過ごせる場づくりを進めます。

#### 2 互いを知り、活かし、支え合い、助け合う、地域づくり

地域の中であいさつができる顔の見える関係から、担い手を拡大し、支え合い、助け合う取組みを進めます。

#### 3 災害などに備えた安全・安心なまちづくり

安全・安心なまちづくりとして、日ごろから緊急時等に備えた取組みを進めます。

具体的な取組みの検討

●中間見直し

R4年度

R5年度

R6~8年度



## 稲毛・こどものWAねっとわーく



稲毛・こどものWAねっとわーくは、現場の活動を応援する中間支援に取り組むグループです。コロナ禍で休止中の活動も少なくないことから「子育て支援・こどもの活動の「やる気」をつなぐ」をテーマに、少人数に絞った対面式でのZoom講習会や、子どもや親子の現状や活動の工夫を学んだりする連続講演会などを開催してきました。

これらは、活動をなかなか再開できない担い手の思いを共有する交流の機会ともなりました。

また、身近な地域での新たなつながりづくりにむけて、生活支援コーディネーターの方々にご参加いただき、「あったらいいなと思う多世代の居場所づくり」をテーマに、圏域別のグループで、お互いが知っている地域資源（アセット）を出し合いました。

いずれも社会福祉協議会稲毛区事務所のご協力により、民生委員・児童委員の方々にもご参加いただきました。



# コロナに負けない！地域福祉

長引くコロナ禍において停滞／縮小しがちな地域福祉活動ですが、そのような中で工夫をしたり、あるいはこの状況下だからこそその活動を展開している事例をご紹介します。

### 認定NPO法人 コミュニティケア街ねっと

介護保険を利用しない生活支援サービスや地域交流、親子ひろば、放課後の居場所等を運営する「認定NPO法人コミュニティケア街ねっと」では、活動ごとに細かなコロナ対策（ガイドライン）を定めています。これには、①団体の姿勢を示す、②スタッフが対応を間違えない、③利用者に安心して参加できるか判断してもらうという3つの目的があり大変有効です。

団体は園生町にあるくらしと福祉の複合施設「生活クラブいなげビレッジ虹と風」にあり、そこに入る介護事業や店舗の運営団体とともに、施設周辺の皆さんが安心して元気な暮らしができるよう、地域食堂「みんなのテーブル」や介護予防のための「いなげサロン」などを実施しています。

### 安心できるガイドライン作りと、繋がりを絶やさない活動の工夫

これまでの見守りや信頼関係を絶やさないようにしたいと、脳トレや手工芸の宿題を渡して持参いただいたときに様子を聞く、試食品やレシピを渡して普段の食生活の話をする、健康観察や体操など機能ごとに場所を分け、一か所に長い時間集まらないようにする、などの工夫をして日々活動しています。



「いなげサロン」機能ごとに場所を分けて、密にならないように工夫。